



年長きく組だより



5月
令和6年陣内幼稚園

新年度から1カ月が過ぎ、新しい環境にもだいぶ慣れてきた子どもたちです。「ばったみつけたよ!」「おにごっこしよう!」など、友達と関わりながら遊ぶ姿も見られています。また、先月は家庭訪問大変お世話になりました。ご家庭での様子などを知ることができ、今後の保育に活かしていきたいと思えます。何かありましたら、いつでもお気軽にお声かけ下さいね。

今月の保育

〇ねらい

- ・思いや考えを伝え合いながら、友達と一緒に遊びや生活することを楽しむ。
- ・友達と関わり、戸外で身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・身近な虫や植物を見たり育てたりする中で、興味や関心をもつ。

〇内容

- ・自分の思いや考えを、相手にわかるように伝えようとする。
- ・友達の思いを聞き、自分とは違う思いがあることに気付く。
- ・ルールのある遊びを通して、友達との関わりを楽しむ。
- ・戸外で全身を動かし遊ぶ心地よさを味わう。
- ・虫を探して観察したり、自然物を取り入れたりして遊ぶ。

〇あそび

- ☆虫探し・花摘み ☆野菜の苗植え
- ☆様々なごっこ遊び
- ☆色水遊び ☆廃材遊びなど

〇うた

- ♪こいのぼり
- ♪めだかの学校
- ♪犬のおまわりさん など



おしらせとおわかい

☆着替えバックを随時返却しますので、気候に合った服に、衣替えをお願いします。

★植木鉢に、肥料を混ぜた土を入れ、**10日(金)まで**にお持たせください。

☆移動図書が始まっています。2週間に1度、貸し出しがあります。貸し出し日前日までに、園へ返却をお願いします。(返却がないと次回借りることができません)絵本バッグは、移動図書の翌日に持ってきてください。



5月生まれのおともだちはいません



☆ちょこっとコラム☆「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」

「10の姿」という言葉はあまり聞き慣れない方が多いかと思えます。「10の姿」とは、2018年4月より施行された文部科学省が示す「幼児期の終了までに育ってほしい幼児の具体的な姿」の総称です。つまり、「**幼児期の終わり、すなわち小学校入学までに育ててほしい姿や能力のめやすを示したもの**」です。

「小学校入学までに」と聞くと、「読み書き」や学校の「勉強」についていけるようにしておかなければ、と思いがちですが、この「10の姿」は授業のような形で身に付けるものではなく、**毎日の園生活や遊びを通して育むことを目指した**ものです。今後、さらに人口減少の一方で人工知能・ロボットなどの技術革新が進むことが予測され、子どもたちは、これまでの経験では推しはかれない未来を生きることになるでしょう。そのような中で、自分の力で人生を切り開いていくためにどのような教育が必要かを示したのが新学習指導要領で、学校教育にスムーズにつながる基礎となるのがこの「10の姿」です。内容は以下のものになります。

- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性④道徳性・規範意識の芽生え⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然との関わり・生命尊重⑧量・図形、文字等への関心・感覚⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

参照:「とかち子育て応援ラボ」

幼稚園でも、日々の園生活の中や遊びを通してこの「10の姿」を育むことができるよう意識しながら過ごしていきます。「教えられる」のではなく「**自ら考え行動する力**」を育んでいきたいと思っています。

おたよりや掲示板で子どもたちの様子を写真と「10の姿」の視点からご紹介していけたらと思っていますので、おたよりや掲示板をぜひチェックしてみてくださいね。

今月のあそび「うんてい、むしとり」

今月は、進級当初から夢中になって遊んでいる「うんてい」と「虫捕り」の様子を紹介します。「うんてい」は、手のひらに頑張り豆をつくりながら何度も挑戦する姿が見られます。「虫捕り」は、一生懸命ばったやチョウを捕まえて、虫かごの中に、葉っぱやお花を入れて、大事そうに見つめています。

<10の姿>

「健康な心と体」…幼稚園生活の中で充実感や満足感をもち、自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせて取り組む

「自然との関わり・生命尊重」…自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じる。

身近な動植物を命あるものとして心を動かし、親しみを持って接し、いたわり大切にする気持ちをもつようになる

